

## 第1章 ICカードの基本原則

### （ICカードの定義）

第1条 この規則でいう大学生生活協同組合（以下、大学生協という）のICカードとは、生協が発行する組合員認証機能を搭載した組合員カードをいい、この規則では、ICカードと呼称します。また、この規則に基づいて岐阜大学消費生活協同組合（以下生協という）の組合員にはICカードが発行されます。

### （規則の効力）

第2条 ICカードは、この規則に基づき発行されます。

### （ICカードの利用）

第3条 組合員は、カードに搭載されたICチップを利用して生協の提供するサービス、並びに生協が承認したサービス提供者の提供するサービスを受けることができるものとし、

- 2 カードの利用にあたっては、本規則を遵守するものとします。
- 3 組合員は、生協を脱退する等の事由により組合員の資格を喪失すると同時に、本条第1項にいうサービスを受けることができなくなるものとします。

### （ICカードの紛失・盗難）

第4条 組合員が、ICカードを紛失するか、盗難にあった場合は、速やかに生協に連絡の上、生協に対し所定の手続きを行うものとします。

- 2 ICカードを紛失するか盗難にあった組合員が、当該ICカードを発見した場合は、所定の手続きに従って生協に届け出るものとし、生協が認めたときに限り、当該ICカードを再利用できるものとします。
- 3 ICカードを紛失・盗難その他の事由により他人に利用された場合に生じた一切の損害については、組合員がこれを負担するものとします。

### （ICカードの再発行）

第5条 組合員は、ICカードの忘失・盗難、汚損、その他ICカードの再発行を必要とする事由により、再発行を依頼する場合には、再発行申請書を、生協に提出し承認を得るものとします。

- 2 ICカードの再発行を受ける場合の手数料は、生協所定の手数料を負担するものとします。

### （不備の申し出）

第6条 組合員が、ICカードの発行または再発行を受けた場合は、組合員は、直ちにICカー

ドの記載内容等を確認し、不備がある場合には遅滞なく生協に届け出るものとします。

#### (個人情報)

第7条 生協は、別途定められた「個人情報保護規則」に基づき、生協が提供するサービスの円滑な利用以外の目的には、個人情報等を利用しないものとします。

#### (届出事項の変更)

第8条 組合員は、個人情報に変更が生じた場合は、生協に対して所定の届出を行うものとします。

2 組合員は、前項の届出を怠ったことにより生じる一切の損害を負担するものとします。

#### (プライバシー情報の保護)

第9条 生協は、別途定められた「個人情報保護規則」に基づき、組合員がICカードを利用することによって入手した組合員のプライバシーに関わる情報を、生協の提供するサービス以外の目的に利用しないものとします。

#### (ICカードの利用停止と返却)

第10条 組合員は、次の何れかに該当した場合に、生協が、生協の提供するサービスにおいて、当該組合員のICカード利用を停止し、その機能を喪失させることができることを承諾するものとします。

- ① 申し込み時に虚偽の申告をした場合
- ② 本規則のいずれかに違反した場合
- ③ ICカードの券面上に記載された内容を無断で改変した場合
- ④ 磁気ストライプ（磁気ストライプがある場合）及びICチップに記録された内容を改ざんした場合
- ⑤ その他、組合員のICカード使用状況が適当でないと生協が判断した場合
- ⑥ 生協の組合員身分を失ったとき

2 組合員が、自らICカードの利用を停止する場合は、所定の手続きに従って生協に届け出るものとします。

## 第2章 ICカードの機能・サービス

### 第1節 プリペイド機能の利用

#### (プリペイド利用方法)

第11条 組合員は、生協が指定した方法で申し込み、生協が指定した金額を生協に持参、もしくは生協が指定する方法での金融機関等を使った支払手続きをすることによって、納めた金額と同等の入金額を、管理サーバに蓄積・利用することができます。

2 組合員は、本条第1項により記録された金額もしくは生協が指定する割増率で増額された金額の範囲内で、生協の指定する店舗（以下「指定店舗」という）においてICカード対応機器で記録された金額を読み取ることで、入金した金額相当額で、指定店舗にお

ける決済代金（商品代金、送料、手数料または消費税を含む）の全部または一部の支払いとして利用するか大学生協が指定するサービスを受けることができます。

（プリペイド利用の形態・利用ルール等）

第12条 生協は、電子マネーの設定形態、限度額、入金額に対する割増などの運用ルールに関して、別途「告知事項」・「同意事項」を通知するものとします。

（ICカードでプリペイドが利用できない場合）

第13条 組合員は、次の場合には、ICカードの利用ができないことをあらかじめ承諾するものとします。

- ① ICカードの紛失、汚損、指定店舗の端末機の故障、通信環境の障害、停電等によりICカードを利用することができない場合
- ② 生協が、ICカードで利用できない商品及びサービスを指定している場合

（プリペイドの紛失・汚損等）

第14条 ICカードの汚損により、プリペイド金額の読み取りができなくなった場合、またはICカード記載内容変更により再発行を受ける場合は、本規則第5条にいう再発行の届出を行うものとします。

- 2 組合員がICカードを紛失し、または盗難にあった場合は、本規則第4条及び第5条にいう届出を行うものとします。紛失にはカード読み取り機のトラブルにより、利用が出来なくなったときを含むこととします。

（返金・返品の原則禁止）

第15条 出資法に規定する「預り金」や銀行法及び資金決済法が禁止する「為替取引」と見なされることを避けるため、プリペイド未利用残額（電子マネー残高やポイント残高を含む）の払戻しはできないものとします。ただし、組合員の電子マネーの使用が著しく困難となる場合かつ払戻金額が少額である場合など大学生協が別途指定した条件を満たすもの限り、払戻しができるものとします。

- 2 前項における払戻しは生協が定めた方法で行い、事務手数料として1,000円（税別）を申し受けるものとする。また、振込による払戻しの際に発生する振込等の手数料がある場合は組合員が負担する。

## 第2節 ポイント機能の利用

（ポイントの発生）

第16条 生協は組合員に、プリペイド利用金額に対応して算定された特典、もしくは生協において所定の条件・方法により設定された特典（以下、「ポイント」という）を付与することができます。

- 2 ポイント対象店舗、商品やポイントの算定率ならびに付与内容は、生協が定めた方法で組合員に通知します。
- 3 ポイント対象店舗、商品やポイントの算定率ならびに付与内容は、組合員に予告無く変

更する場合があります。

(ポイントの受領)

第17条 組合員は、本規則第16条により発生するポイントをICカード等の手段により受け取ることができます。

(換金・譲渡の禁止)

第18条 本規則第16条により発行されたポイントを、現金と換金することは、行わないものとします。

2 組合員は、理由の如何を問わず、ポイントを他人に譲渡・担保提供、又は相続することはできません。

(ポイントの失効)

第19条 組合員が組合員資格を喪失した場合は、当該の組合員に付与されたポイントの権利は失効するものとします。

### 第3節 ミールプラン（通称：食堂パス）の利用

(ミールプラン（食堂パス）の定義)

第20条 組合員は、生協が指定した方法で申し込み、支払手続きをすることによって、生協が指定したICカード等により食堂パスの機能を使用することが出来ることとします（以下、食堂パス利用組合員という）。

2 食堂パス利用組合員は、ICカード等での認証により食堂パスの機能を利用することで、生協が指定した期間、かつ生協が指定した食堂等の店舗（以下「指定食堂等」という）、かつ生協が指定した営業日・営業時間および指定した1日あたり限度額の範囲内で、生協の指定する食事等の商品を利用することができることとします。このような利用を食堂パス利用といいます。

(ミールプラン（食堂パス）利用細則)

第21条 ミールプラン（通称：食堂パス）の利用にあたっては、別途定める「ミールプラン（食堂パス）利用細則」によるものとします。

### 第4節 仮カード・仮食堂パスの利用

(仮カード・仮食堂パスの発行)

第22条 組合員は、ICカードが発行されるまで、生協所定の手続きにより、当該組合員の認証番号を付与はしないが、プリペイド機能、ポイント機能が使用できる仮カード、もしくはプリペイド機能、ポイント機能、食堂パス機能が使用できる仮食堂パスの発行を受け、組合員カードと同様のサービスを受けることができます。

2 ただし、仮カード及び仮食堂パスは個々の組合員の認証番号が付与されないため、認証番号を活用した利用情報の提供等ができないことを、利用者は予め承諾したものとしま

す。

- 3 仮カード及び仮食堂パスの発行を受ける際に、あらかじめ生協所定の預託金が定められている場合は、所定の預託金を支払うこととします。

#### (仮カードの返却)

第23条 仮カード組合員がICカードを入手した場合は、速やかに生協に届出て仮カードを返却します。本規則第22条でいう預託金が定められ、組合員から預託金を預かっていれば、生協は仮カードの返却を受けた場合、預託金を返却します。

#### (仮カードの残額移行)

第24条 仮カードの発行を受けた組合員が仮カードを返却した場合、生協に所定の手続きを行い、仮カード上のポイント・プリペイド残高、食堂パス設定をICカード利用規則で規定するICカードに移行することができます。

#### (利用履歴の提供)

- 第25条 生協は、組合員のICカードのプリペイド利用及び食堂パスの履歴（以下、利用履歴という）の一部を組合員にもしくは組合員の親権者に提供します。
- 2 利用履歴とは、利用商品、利用の金額、入金額、プリペイド残高等を指します。
  - 3 利用商品とは生協の店舗、食堂等においてPOSレジで精算された商品であり、その利用商品名はPOSレジに登録されているデータを指します。ただし、POSレジに当該商品のデータが登録されていない場合があることを利用者は予め承諾するものとします。
  - 4 利用履歴は、生協が指定する電子媒体（生協のWebサイト）によって提供し、その利用は、組合員が申し込みすることで提供されます。
  - 5 組合員は、利用履歴を親権者に提供することを承諾したものとします。
  - 6 生協は提供した利用履歴の不正などにより、組合員及び親権者に不利益が生じた場合もその損害を補償しません。

#### (利用履歴提供の終了・中止・変更)

- 第26条 生協は、組合員に告知を行うことで、利用履歴の提供を終了、中止し、又は内容を変更することがあることを、利用者は予め承諾したものとします。
- 2 前項により会員に損害が生じた場合、生協は一切の責任を負いません。
  - 3 以下の理由による場合、生協は事前告知なく利用履歴の提供を一時停止、中止する場合があります。
    - (1) コンピュータシステムの保守点検
    - (2) システムの切り替えによる設備更新
    - (3) 天災、災害による装置の故障
    - (4) その他予期しない障害の発生

### 第3章 その他

(損害の負担)

第27条 組合員は、本規則を遵守するものとし、本規則の違反により生じる一切の損害を負担するものとします。

(本規則の変更・廃止)

第28条 生協は、ICカードの基本原則の変更による効力・機能サービスの充実・合理化、利用者の便宜向上、社会経済状況の変化への対応、その他サービスの円滑な実施のための必要がある場合に、本規則を変更・廃止することができます。

2 前項の場合、生協は、本規則を変更・廃止する旨、変更後の本規則の内容及び変更・廃止の効力発生日について、変更・廃止の効力発生日までの間に次に定める方法を適宜活用して、利用者への周知を図ります。

(1) 店舗での掲示

(2) Webサイトへの掲示

3 この規則の変更・廃止は、生協の理事会の議決によります。

(準拠法)

第29条 この規則に関する準拠法は、全て日本法が適用されるものとします。

(合意管轄裁判所)

第30条 組合員は、この規則の規定する内容について紛争が生じた場合、訴額のいかんに関わらず、生協所在地を管轄する地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

(施行)

第31条 本規則は2020年1月16日から施行します。

2 本規則は2023年1月1日から改定施行します。

3 本規則は2023年10月26日から一部改定し施行します。

制定・改定年月日

2020年1月15日 制定

2022年10月26日 改定

2023年10月25日 改定